

敦賀市地震防災マップ

作成：敦賀市建設部住宅政策課

このマップは、将来起こりうる地震を想定し、作成したものです。地震による建物被害などを認識していただき、建物の耐震化や地震対策など、日頃からの備えにお役立てください。

- ★ 地震マップは以下の3つのマップで構成されています。
- ① ゆれやすさマップ
 - ② 液状化危険度マップ
 - ③ 地域の危険度マップ

★ ゆれやすさマップについて

ゆれやすさマップは、地震が起きた際、敦賀市に大きな影響をおよぼすと考えられる活断層及びどこでも起こりうる直下型地震を想定地震の対象とし、そのゆれやすさを50mメッシュ単位で色で表示したものです。

《このマップの活用方法》

- わが家が建っている地盤のゆれやすさをチェックしましょう。
- わが家のまわりや、普段からよく行くところ、よく通るところなどについて、想定されているゆれの大きさを確認してみましょう。
- 大きな家具や就寝場所など家の中の危険な所をチェックし、必要に応じ家具の転倒防止対策等を行きましょう。
- 避難経路や避難場所を確認し、家族・地域で避難方法などについて話し合っておきましょう。

※このマップに示す震度は、活断層の位置や地震の規模を仮定したものであり、地震の発生の仕方によっては、これより強くなったり弱くなったりすることがあります。あくまでも予測結果であることを理解したうえで、防災対策にご活用ください。

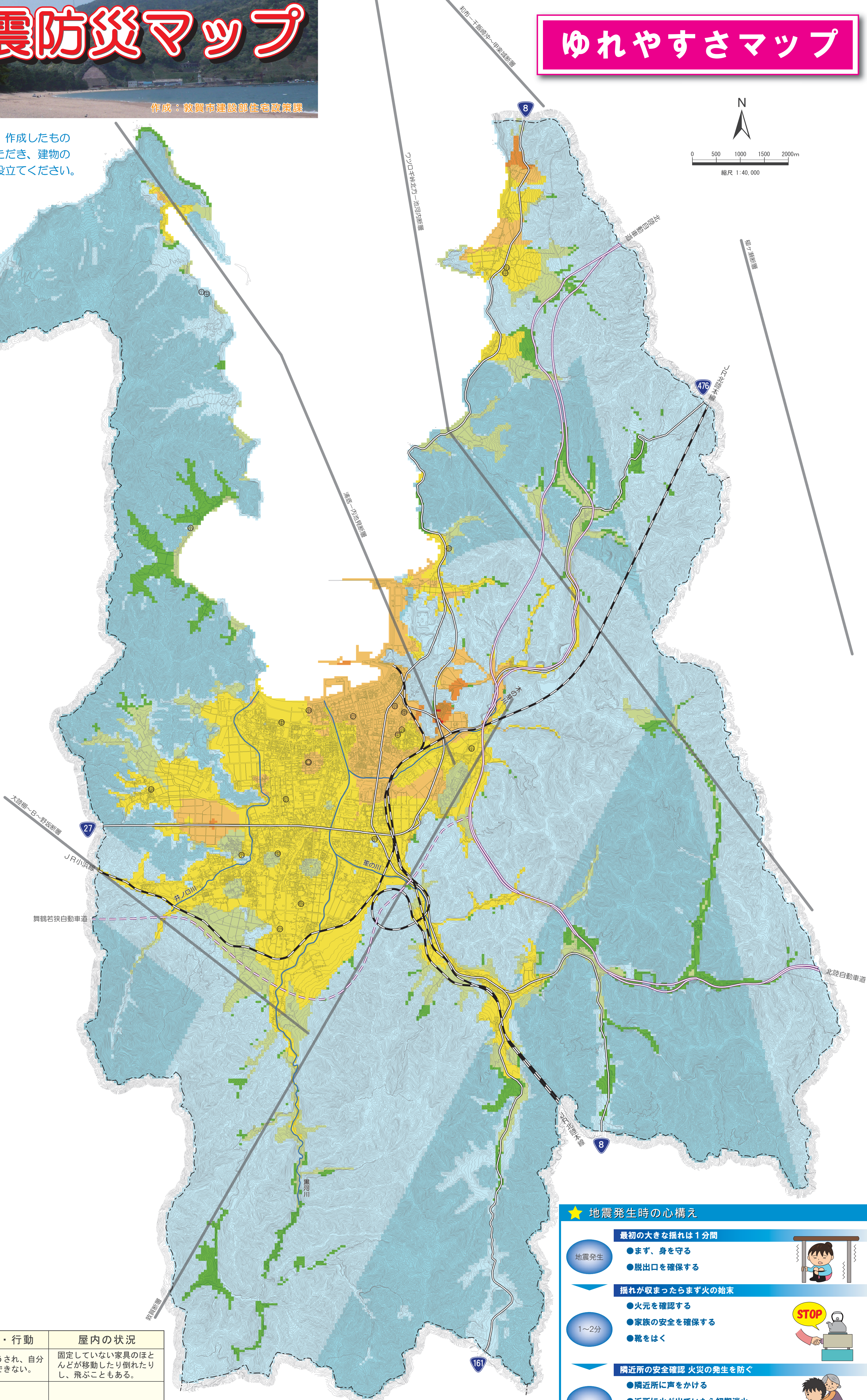
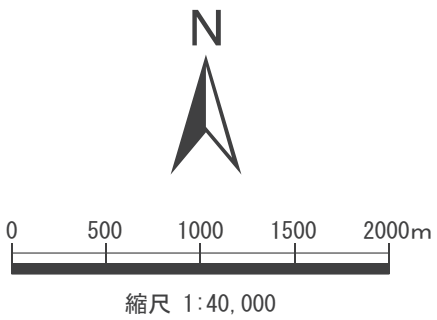


凡 例	
	活断層
	鉄道
	高速道路
	主要道路
	主要河川
	敦賀市役所
	小学校
	中学校

	計測震度	震度階	人の体感・行動	屋内の状況
	6.5 -	7	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。
	6.4	6 強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
	6.3			
	6.2			
	6.1			
	6.0			
	5.5 - 5.9	6 弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
	5.0 - 5.4	5 強	大半の人が、物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 22 業使、第 454 号）
なお、この地図を第三者がさらに複製又は使用する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

ゆれやすさマップ



★ 地震発生時の心構え

地震発生

最初の大きな揺れは1分間

●まず、身を守る

●脱出口を確保する

1~2分

揺れが収まったらまず火の始末

●火元を確認する

●家族の安全を確保する

●靴をはく

3分

隣近所の安全確認 火災の発生を防ぐ

●隣近所に声をかける

●近所に火が出ていたら初期消火

5分

ラジオなどで正しい情報を入手

●正しい情報をつかむ

●電話はなるべく使わない

●家屋倒壊などの危険があれば避難

数時間

協力して消火 救出・救護活動

●水・食料を家から持ち出す

●壊れた家には入らない

●災害情報・被害情報の収集

3日くらい

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 22 業使、第 454 号）
なお、この地図を第三者がさらに複製又は使用する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。